地球家族セミナー資料

２１世紀の新しい生き様

１．新しい 1,000 年紀への突入

（１）カリユガ、末法の時代から、黄金の時代へ・・・夜明けが近い
末法の時代とは、宇宙の愛と調和と循環の法則が破られる時代。
物欲、自己欲、自己中心主義・・・対立、闘争、物質文明・・・うお座のエネルギー

（２）水瓶座は、黄金時代と呼ばれる・・・天上界から強力なエネルギーが降りて来る。
如来・・・光、生命に目覚める時代。闇に光がさすと、悪は混乱する。悪のあぶり出しが続いている。光が現れると闇は消える。このことをハルマゲドンという。

（３）魂の内に、宇宙意識（神意識）が進化して来る世紀へ突入。2 万 6 千年に 1 回。タヂカラノオノ命が岩戸を開ける。・・・岩戸開きの時代
力とは光であり知恵・・・肉体ではなく生命エネルギー、宇宙意識（全智全能）の時代。霊性の時代へ入った。知識から知恵の時代

（４）人類の進化・・・感情タイプ→理性タイプ→霊性タイプ
21 世紀は理性タイプが主流で、霊性、感性が磨かれる時代へ。
太陽系惑星が銀河系のエネルギーの高い領域に 2012 年より入った。2013 年とはもっとエネルギーが強くなる・・・冬でも陽射しが
低級意識体（悪霊）は最後のあがき・・・光と闇との両極分解が最後の段階へ・・・意識を落とすのは早い。

（５）アストラルからメンタルの時代へ・・・
古い感情タイプは、強い光のエネルギーによって切れる、ストレスが高まる。
鳩尾センターが怒りでホルモンが異常に。高血圧、コレステロール、糖尿、ガンへ。
副腎から毒素。骨の髄に貯まる。内分泌液の正常化が必要（天空の虹装置の出番）

（６）最後の審判のラストステージ
20 世紀の大陸沈没は回避された。しかし、審判は必ず発生・・天変地異、食糧危機、ウィルス、病気など。

（7）小さなもののみが生き残れる。
何故なら大きいものは失うものが大きく、生き残れない。小さいものは失うものがないから生き残れる。

（8）転換期は痛い思いをしなければならない。
物という、消え去るもの、闇に生きる者は闇に飲み込まれる。嘘に生きている人間が一番苦しい。財、名誉、地位、権力を持つ者、五官に生きる者、
チームプレイが出来ない自分さえ良ければの人々。

（9）愛と調和と循環の法則を犯した者はカルマを 100％刈り取られる。個人、市町村、組織、国家、民族・・・闇は闇によって飲み込まれる。

例）　個人・・・国民の利益をむさぼった者・・・政治家、官僚、学者、企業。人を裁き、自分だけ利益を取る人
　　国家・・・米国、中国共産党、ユダヤの金権団体
　　宗教・・・金儲け主義、人を殺す宗教、人をだます嘘の教義

（１０）犯した罪に応じて、変化は極端とゆっくりの差が出る
大きなカルマの刈り取りは速い・・・事故災難、不幸、病気、無明界、魂を消される

（１１）天のシナリオを理解して、実践する者、行動する者・・・天上界から支援を得る。やること成すこと上手くいく。

（１２）愛は天と地の架け橋を実践する者・・・世の救世主となる者
巫女、神の子、一息の子。奉仕が当たり前の人、人の悩み、苦しみを救う人、癒す人、希望を与える人、おみこし経営者。
口先だけではなく善、愛を実行する人。人に役立つ仕事をする人。

（１３）天上界の指導を人類が素直に受け入れる時代に・・・

3,200 年前　モーゼを派遣・・・十戒、義を説く

2,500 年前　釈迦を派遣・・・・法と宇宙の摂理を説く

2,000 年前　イエスを派遣・・・愛と天と地の架け橋を説く

現代　　知花敏彦を派遣・・宇宙の法則、神を科学として説く

21 世紀　　人類霊性の自覚・・宇宙の科学、創造の原理、元素転換を理解して普及する時代

（１４）混乱した地球の破壊、生き物の健康回復、対立闘争から共存共生へ。

創造の原理、元素転換の応用、微生物の活用、医食同源の農産物作り・・・「天に成せるが如くこの地にも成らせ賜え」、が科学として万人が実行出来る時代が近い

（１５）永遠の原理である宇宙法則によって、全ての宗教、学問、思想が統一される時が近い。

（１６）ユートピア社会の到来・・・地球は聖なる星になる。夜明けとなる。霊太陽は日本から昇る。これを見過ごさないように。

不動明王を拝むよりは、自分の体からオーラを放出せよ。光を貰うよりも、光を放つ人間になれ。

２．悟りに到る 31 の条件（前半編）

（1）人間の常識は宇宙の非常識

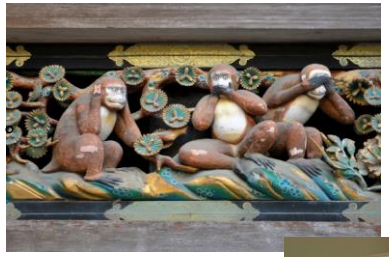
人間の知識は、肉体の五感を通して物質から得たもの。物質にはエントロピーの法則が働き、消え去るもの。消え去る物は、宇宙から見ると仮想。存在しないもの。マクロの宇宙は不死不滅。久遠の存在。これが実相で実在。常識とは、常在の知識。消え去るものは常識とは云わない。現代科学は、消え去る物質を対象とした知識。

本物（実在）でない。偽物だから、あの世へは持って帰れない。知恵は本物。あの世へ持って帰れる。物理学、化学はこれ以上発展しないといわれている。

量子力学も観察中心で、酸素も水素も光のエネルギーも見えない。いわんや法則は不可視であり、あることに気付かない。
本屋の本には、宇宙科学の事実は書かれていない。
人間は知らないから。

（２）知識から知恵の時代へ
知識は消え去る外から五感で得るもの。知恵は内から湧くもの。物質から得る知識は消え去る偽物。内から湧くものは、潜在意識や超意識からくるもの。
直感、啓示、閃きで来るもの。これを天啓という。表面意識で、受け取るものを暗示という。あの世へは、知識は持ち帰れず、知恵は持ち帰れる。
過去生の記憶は全て潜在意識に記憶として残っている。知恵はあの世へ持ち帰れるから。
自己中心、物欲の人は知恵が湧かないから、創造的、前向きなことは苦手となる。超意識は創造主の意識と直結しているから、全智全能の知恵を持っている。
この知恵を直感、啓示としてもらう修練が必要。雑念で一杯だと湧いてこない。
素直になる必要がある。

（３）三猿のことわざ・・・見ざる、聞かざる、言わざる、の意味。
釈迦は、八正道を説いた。正しく見て、正しく聞け、そして正しく語れ。
人間は、姿、形の物質が実在だと思い、そこに名前をつける。ガラスのコップは 100 人がコップ、という
コップが割れ、ガラスのカケラになると、全員がガラスという。
コップの本質はガラス、ガラスがなければコップは存在しない。
正しく物事を見ることが出来なければ、正しく語ることも出来なく、正しく人の話を聞くことも出来ない。
見える物の背後にある、本質を理解せよ、ということ。



（４）見える物の本質は見えないもの。原子と電子（酸素と水素）の働きと、そこに働く法則を理解すること。
見える物は、見えないものから出来上がっていることに気付くこと。菜の花を見て、きれいだと思うだけではダメ。
花が咲く背景にどういう力が働いているのか、生命の動きに気付くと人生観が変わる。

（5）命とは何か・・・宇宙はエネルギーと質量、原子と電子は一つのものしかない。それが無限大に存在している。
エネルギーとは創造主の生命エネルギーがあるのみ。生命は意識でもある。宇宙生命、宇宙エネルギー、宇宙意識は同じもの。不死不滅で全智全能、
これを万象万物は与えられている。全ては兄弟姉妹、同じ生命で生かされている。神とは生命のこと。無限大、唯一のものしかない。心は始めから一つしかない。
これを一心集中、心を一つにするという。
人間は分離感を持ち、勝手に個人生命へと制限制約している（自縛）。自縛を解く人は、本人しかない（自己解脱）。無私とは、私は無限大の存在であるということ。

（6）天と地は一体・・・原因マクロの無限大の原子と電子、この集合体が、結果である物質。原因と結果は一つ、同じもの。
人間を構成する肉体は、原子と電子の集合体。原子と電子は創造主の創ったもので、創造主の分身。肉体は人のものではなく、創造主のもの。
創造主からの借り物。いつかは返さねばならない。返す時は破壊しないで、丁寧に使って返そう。
最後の審判があるが、審判されるのも自分、審判するのも自分・・・このことの意味を理解出来ると卒業。

（7）自分が救世主
救世主は外からは来ない。あなたの命は創造主の宇宙生命の分身。オンラインでつながっている。あなたの命は全智全能で、完全なものしか創らない。
あなたが自分の内なる創造主の命・・・超意識を知らないが故に認めてないから使えない。
認めるものは表れる。我が内に救世主がいることを認めると全智全能の世界から直感、啓示、閃きが必要に応じて与えられる。これを天啓という。

（8）自ら救うしかない
内から湧くものは、真実で知恵の世界。生命は光エネルギー体。知恵は光。知恵光という。力でもある。
あなたの命は両親から受け継いではいない。肉体のみ受け継いでいる。
命は創造主から貰っている。あなたの命は無限大の宇宙生命であることを理解し、認めればあなたには、悩み、苦しみ、病気がなくなる。
「神は自ら救ける者を救ける。汝の救いは、汝自身なり」「宇宙即我」「我即宇宙」

（9）有限から無限へ
人は自分の肉体が自分だと思っている。他人の肉体はその人のものと考える。
生命を認めても、個人生命だから、他人の生命とは別のものと思っている。

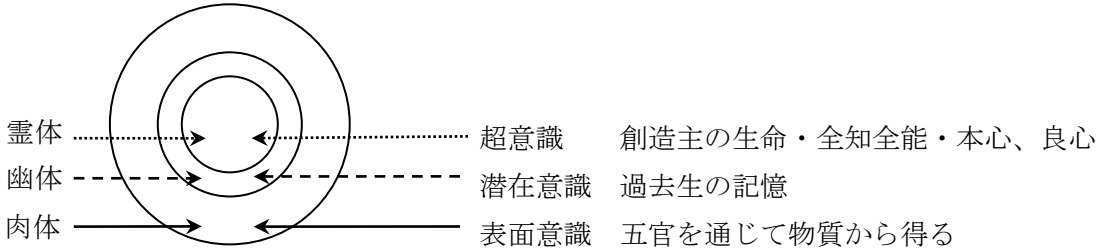
有限の存在であり、この一生が全てだと考えている。宇宙は無限大の大きさ、無限の内に有限は存在しない。
人間を構成する原子も電子も無限大。
人間の目では有限のものしか見ることは出来ない。無限なるものは心のイメージで見るしか出来ない。
心は生命であり、意識であるから、無限の生命と宇宙意識とつながっている。

（１０）個から全体へ
人の細胞数は 60 兆もある。細胞の働きは体の部位によって全て異なる働きをしている。
人の心があそこに行くと思うと 60 兆の細胞は心を一つにしてそのゴールに向かって体を動かす。細胞がバラバラな行動をすると、ゴールに到達できない。
細胞の内にミトコンドリアというバクテリアがいる。人体はバクテリアの集合体。しいて数をあげると約 8,000 兆。この 8,000 兆のバクテリアも心を一つにして働く。
微生物の世界の行動指針は、援け合い、分かち合い、心を一つにする共存共生。
細胞が人間の真似をして勝手にふるまい、相手と対立すると、細胞が隣の細胞を食いつぶして、自分だけ大きくなる。これがガン細胞。
自然は共存共生、心を一つにする、これが生態系。必ず秩序が取れた状態に落ち着く。

（１１）未熟な魂と熟した魂
人間は、魂の修行の為に、輪廻転生を繰り返す。原始生活と文明生活、奴隷と主人、貧乏人と金持ち、失敗者と成功者、女と男、様々な人生を体験させられて、魂を鍛え成長していく。もやしでは、大きな役割が果たせないから。今テロで人殺しをやっている人は過去生で戦った経験がないから人を殺すことは悪いことだと知らない人。
転生の回数の少ない人は子供と同じで幼稚。回数の多い人は熟練の大人。大人が子供を馬鹿にしてはならない。体験が、大人か子供かの違いがあるだけ。
自分の本質が宇宙生命にあり、人間は存在しないことを悟ると人間卒業。輪廻からの解脱となる。闇に満足する人、物質を求める人は、死んでも光の世界には帰らない。
夜行人間、コウモリ、もぐらと一緒。闇、無明界へ戻る。

（１２）法灯明、自灯明を汝の師とせよ。

釈迦は臨終に際して弟子たちに、「私なきあとは、法灯明、自灯明を汝の師とせよ、」と伝えた。



自灯明は、個人生命のこと、但し創造主の生命の分身分魂分霊で、修行を積んで進化していき、いずれは全員が創造主の生命と一体となる。

超意識の宇宙生命を法灯明という。内在する神、一心集中することによって、潜在意識と超意識から情報を貰うことが出来る。直感、啓示、閃きとして。

全知全能の知恵、過去生で学び知恵を活用しなさい、と釈迦は説いた。

（１３）魂の食事と肉体の食事、プラナ呼吸法

食事は食物のカロリーを摂取していると考えているが、それは間違い。

食物の原子と電子を体内で常温の元素転換を行って、血や肉や骨に変えている。

原子と電子は、食物、有機物から摂取できる。

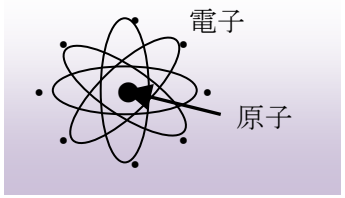
何を食べても全て原子と電子だから、あれとこれを食べないと駄目というマクロビオティックの考え方は誤り。

空気中も原子と電子が充満している。聖者は空気中の原子と電子を摂って生きているから食事を摂る必要がない。

息を吸う時、無意識で吸っているが、この時空気中の生命エネルギーを吸うと思って呼吸すると、空気中の原子と電子を吸収し、

体内で血や肉や骨にすることが出来る。これをプラナ呼吸という。

無意識の本来の意味は、無限大の宇宙意識という意味。息は魂の栄養、息そのものが魂。レイキ、空気。呼吸法は魂を養う。



（１４）心に太陽を持って

太陽光線・・・光のエネルギーによって、鉱物、植物、動物、人間は、生かされている。

地球の自転のエネルギーは太陽の光エネルギーによって得ている。このことをお陰様で、という意味。様は SUN のこと。太陽のこと。

自分は霊エネルギーによって生かされている、と自覚することを心に太陽を持て、という意味となる。これを霊的自覚という。

（霊的人間）人は、３つの霊太陽によって生かされている存在。

宇宙の霊太陽―太陽―心臓の後ろにある魂（生命）

人の命は創造主の命の分身。宇宙生命は無限大だから、方向性がない。

光エネルギーが自分の命。このことを理解すると、解放、解脱となる。

（１５）汝、盗むなかれ

エネルギーの低い人と意識の低い人とは比例関係。エネルギーの低い人はエネルギーの高い人からエネルギーを自動的に貰っている。

エネルギーは高いものから低いものへ自動的に流れる。他人のエネルギーを奪ってはならない。このことを盗むといっている。

エネルギーの高い人が電車に乗ると、エネルギーの低い人達にエネルギーをあげることとなる。これが本来の奉仕活動。

釈迦は「3,000 人に飯を盛るよりも、５分間霊性でありなさい」と説いた。霊性とは、生命エネルギーを高めて、人々にエネルギーを与えなさい、という意味。

以下は、次回のセミナーでの資料とします。

（16）白衣を着る

（17）光を放つ人となれ

（18）地球は何故球か

（19）コノ世とアノ世

（20）対立から融合の世界へ
（21）鶏が先か、卵が先か
（22）地獄からの解放のやり方
（23）悟るとは難業苦業に非ず
（24）第三の目
（25）神は中性、何故
（26）人生の目的と眠れる魂
（27）陰陽の法則
（28）原因と結果の法則
（29）エネルギー循環の法則
（30）人間は天と地の架け橋
（31）祝福とは何か

『地球家族２０２０の会+』の設立趣旨

地球の自然を破壊したのは私たち大人の責任です。

子供たちには西暦２０２０年＋までに、元の美しい地球を回復してあげましょう。

引き続き努力します!

★当研究所は、
企業や宗教団体などに所属しない、独立した研究所で、
独自の研究に取り組んでいます。

●地球家族２０２０の会
地球家族　自然と微生物研究所ホームページ
http://chikyukazoku2020.com

●地球家族　自然と微生物研究所フェイスブック
https://www.facebook.com/chikyukazoku2020

【著作権について】
このレポートは著作権法で保護されている著作物です。

このレポートの著作権は、地球家族2020の会　地球家族 自然と微生物研究所　に属します。

著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。

著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。

【推奨環境】
このレポートに記載されているURL はクリックできます。

できない場合は 、最新のAdobeReader を下記ページよりダウンロードしてください。（無料）

http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html